

学校が休校になり感じたこと、学校が再開してから感じたことについて、

6つのグループの視点から記事にしました！

休校になって感じたこと

グループA

新型コロナウイルス感染症の影響により学校が休校になりました。政府から出された緊急事態宣言により、外出自粛ということもあったので、外には出ず家の中で学校から出た休校中の課題や進路に向けての自主学習をしていました。勉強だけでは疲れてしまうので、動画(アニメ・ドラマ)の鑑賞やゲームなどをして、学校再開に向けて過ごしていました。



グループB

3月下旬、本来ならば卒業式をやり、入学式などの学校行事を控えているはずなのですが、今でも猛威をふるっている新型コロナウイルスの影響により、4月から5月末までの約2ヵ月間全学年、登校が出来ず、休みが続いている状況が続いています。

その休校期間中は勉強をしました。疲れた時にはYouTubeを視聴し、ゲームをしていました。

休みが長くなると、家から出ることが少なくなり、体力が大幅に落ち、生活リズムが崩れました。時には朝まで眠らず、昼に就寝するということもありました。

学校が始まり、生活リズムを戻すのが大変でしたが、今は規則正しい生活リズムに戻りました。

グループC

新型コロナウイルス感染症が流行し、あたりまえに過ごしていた日常が変わってしまいました。遊びに行くことが好きな私にとって外出自粛期間中は家にいる時間が多くとても苦しい期間でした。今年行くはずだった好きなアーティストのライブや舞台公演が全て中止になってしまいい、とても悲しかったです。

1日も早く、あたりまえに過ごしていた日常に戻ってほしいと思いました。

グループD

学校が休校になり、教科担当の全ての先生から課題が出されました。課題がとても多く、なかなか終わらなくて時間がかかりました。勉強に疲れ、息抜きにYouTubeを見たり、ゲームをしたりして過ごしていました。

3年ビジネスコース授業風景



情報処理



マーケティング

グループE

私は休校中に学校から配付された課題をコツと勉強していました。毎日課題に取り組み、なんとか終わりにすることができました。休校期間中は、自宅待機により自由に使える時間が多かったので、「あつまれ!どうぶつの森」というゲームをやったり、インターネットでYouTubeを見ていたりしました。

課題提出のときにひさしぶりに学校に行き、仲の良い友達や先生に会えて嬉しかったです。

学校が始まってから感じたこと

グループF

新型コロナウイルス感染症の影響で2ヵ月遅れで学校が始まりました。遅れている勉強を取り返すことや進路のことを考えるなど、とても忙しい毎日でした。特に進路関係は、進学する人、就職する人ともに大変でした。

進学を希望する人は、外出自粛期間中に参加できなかった大学や専門学校オープンキャンパスに参加したり、限られた短い時間の中で進学先を決めたりしました。まだ進学先が決まってない人もいます。

就職を希望する人は、7月1日より公開された求人票を見て会社のことについて調べたり、職業・業種について調べたりしました。

進学を希望する人、就職を希望する人ともに忙しい1学期でしたが、将来に向けて頑張りたいです。